

## 特定非営利活動法人「防災のことは研究会」



### ☆9月2日（水）第1回関西地区研究発表会のお知らせ

テーマ：「避難準備情報、避難勧告・指示の効果的な伝え方、伝わり方」

8月20日で、「防災のことは研究会」が設立して1年経ちました。これまで関東中心で研究発表会を実施してきましたが、今回初めて関西で開催いたします。当NPOの理事のお1人である、京都大学防災研究所の本間さんのご尽力で下記のように開催できる事になりました。関西以西の会員の皆様、是非この機会に、研究発表会にご参加いただきますようお願い致します。

代表理事長 新井恭子



### 第1回関西地区研究発表会

9月2日（火）

時間：14:00～16:00

場所： 京都大学宇治キャンパス S棟-207D

アクセス：<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/access.html>

構内図：[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_uji.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_uji.html)

## 発表内容

### 発表者①：新井恭子

所属：東洋大学経営学部 当NPO代表理事長

タイトル：広島市集中豪雨土砂災害発生時の避難勧告のことはについて

概要：昨年8月20日に広島市で起きた土砂災害では多くの家屋が失われ、75名もの命が奪われました。その半年後、現地調査に行き、広島市消防局と消防団員の方、自主防災連合の会長さんに当時の様子と情報伝達について聞き取り調査を行いました。

その結果を踏まえて、避難情報・勧告・指示をどのような「ことは」でどのような方法で伝えれば、より効果的になるかをまとめましたので、それを発表いたします。

### 発表者②：神田康秋

所属：元テレビ新広島アナウンサー  
フリーアナウンサー

タイトル：マニュアルの避難アナウンスは人の命を救わない

概要：南三陸の防災センターを取材したときの題材をもとに書いた物語調の作品を書きました。「マニュアルの避難アナウンスは、人の命を救わない」がコンセプトの内容です。この作品についてお話いたします。

### 発表者③：町田善軌

所属：京都市消防局安全救急部  
市民安全課 課長

タイトル：自主防災組織の防災行動マニュアルについて

**概要：**京都市消防局では、平成25年台風第18号の教訓から、今まで進めてきた町内単位の防災計画づくりを発展させ、市内すべての自主防災会で学区単位の防災計画を策定していただく事業を推進しています。計画の策定に当たってはガイドラインを自主防災会に提供するとともに、地域担当の消防職員が計画策定をサポートしています。今回はガイドライン策定の経緯や内容についてお話しします。

### 発表者④：本間基寛

所属：京都大学防災研究所 当NPO理事  
タイトル：効果的な避難情報発表のための浸水予測情報の開発

**概要：**大雨による災害危険度を知らせる防災気象情報として、大雨警報や大雨特別警報、記録的短時間大雨情報があります。しかし、一般市民や防災担当者にとってどの情報のときにどこが危険なのかといった災害情報の整理がなされていないため、適切な避難情報の発表とはなっていない事例が多いことが課題です。そこで、今回の発表では、一般市民が得られる防災気象情報から容易に浸水状況を想起できるような洪水ハザードマップの開発についてご紹介します。

## 入会案内

Join us!



入会条件は特にありません。  
災害の時の情報の伝達について、  
問題意識のある方なら、どなたでも入会頂けます。

#### 【会員の特典】

- 1 研究会、シンポジウム等のイベント参加費無料（研究発表の権利）
- 2 情報交換のためのメーリングリストに登録。
- 3 研究会の出版物、論文集の無料配布（投稿の権利）

※詳しくはホームページをご覧ください。



## 事務局

〒112-8606

東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経営学部第53研究室

代表理事 新井恭子

電話：（研究室直通）03-3945-4898

メール：[aria-k@bousainokotoba.com](mailto:aria-k@bousainokotoba.com)

HP：<http://www.bousainokotoba.info>